

岡山フィルハーモニック管弦楽団第82回定期演奏会
— 熟練のタクトが導くチャイコフスキーの世界 —

ARTS
OKAYAMA ARTS FESTIVAL 2023

2024年
10/20(日)

14:00開演 (13:00開場)
岡山シンフォニーホール大ホール

チャイコフスキー/
歌劇「エフゲニー・オネーギン」より
“ポロネーズ”
ピアノ協奏曲第1番
交響曲第5番

「ソリスト…ピアノ」
秋山和慶
[指揮]
中桐望

© 松尾淳一郎

TCHAIKOVSKY

入場料 S席5,500円 A席4,400円
B席3,300円 B(ユース)席1,000円

※「友の会」会員は10%割引。 ※B席ユースは19歳以下に限る(学生証をお持ちの方は25歳未満までご購入いただけます) ※未就学児童の入場はお断りいたします。また、小学生以上の場合には入場券が必要です。 ※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。 ※当ホールには駐車場がありません。公共交通機関のご利用をお願いします。

主催:公益財団法人岡山文化芸術創造
共催:岡山市 岡山県 RSK山陽放送 岡山県音楽文化協会
協力:おかやまアーツフェスティバル実行委員会(おかやまアーツフェスティバル2024提携事業)



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化機能推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

岡山フィルハーモニック管弦楽団 第82回定期演奏会

秋山 和慶 (指揮者)

1941年生まれ。藤藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマン管、チューリヒ・トーンハル管などに客演している。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊曉雄音楽基金特別賞を受賞。

2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

中桐 望 (ピアニスト)

岡山市に生まれ、3歳よりピアノを始める。

岡山城東高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。在学中にアリアドネ・ムジカ賞を、卒業時にアカンサス賞、安宅賞、大賀典雄賞、同声会賞、三菱地所賞を受賞。2013年に同大学院修士課程を首席で修了し、クロイツァー賞、大学院アカンサス賞、藝大クラヴィア大賞を受賞。

第78回日本音楽コンクール第2位。第3回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール第2位、併せてコンクール委嘱新曲課題曲の最優秀演奏者に贈られるSonja Huber賞受賞。第58回マリア・カナルス国際音楽コンクール第2位・聴衆賞受賞。第7回ピアノ・レ国際ピアノアカデミー&コンクール第1位。第15回グリーク国際ピアノコンクールセミファイナリスト、併せてAAF(アーリンク・アルゲリッチ財団)賞を受賞。第8回浜松国際ピアノコンクールでは、歴代日本人最高位となる第2位を受賞し注目を集める。

大学院修了後は国外のマスタークラスを受講しながら研鑽を積み、2014年よりロームミュージックファンデーション奨学生としてポーランドのピドゴシチ音楽院研究科に留学。2015年にデビューCD『ショパン&ラフマニノフ』、2019年にセカンドアルバム『ショパンの歌』(オクタヴィアレコード)をリリース。各年に於けるピアノ演奏会で、ショパン作品に特に優れた演奏を示したピアニストに贈られる第42回日本ショパン協会賞の受賞をはじめ、岡山芸術文化賞・グランプリ、福武文化奨励賞、エネルギー音楽賞、マルセン文化賞など数々の賞を受賞。

これまでに岡山フィルハーモニック管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、Orquestra Simfonica del Valles (スペイン)等、多数オーケストラと共演。

ピアノを内山優子、近藤邦彦、平川真理、芦田田鶴子、大野真嗣、角野裕、エヴァ・ポプウォツカの各氏に師事。現在は岡山を拠点に国内で演奏活動を行う他、後進の指導にも力を注いでいる。日本ショパン協会会員。

中桐 望 オフィシャルサイト www.nakagirinozomi.com



Kazuyoshi Akiyama
conductor



Nozomi Nakagiri
piano

熟練のタクトが導くチャイコフスキーの世界

Okayama Philharmonic Orchestra

1991年に開館した岡山シンフォニーホールは、国内外のアーティストから音響の素晴らしいホールとして高い評価を獲得。これを機に文化庁の補助を受け、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成された岡山県初のプロオーケストラ、岡山フィルハーモニック管弦楽団が1992年に創設。

以来、世界の著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、公演回数は年間100回を超えている。

また、2013年には岡フィル初の首席指揮者としてハンスイェルク・シェレンベルガーが就任し岡フィル強化に取り組んできた。2022年度からは秋山和慶がミュージック・アドバイザーに就任、一層の飛躍を図る。

今後も岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまちのオーケストラ」として皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。

平成12年第1回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。平成15年第4回福武文化奨励賞受賞。

平成16年第1回マルセン文化賞受賞。平成21年度岡山県教育関係功労者表彰。平成24年山陽新聞奨励賞受賞。



【プレイガイド】

岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010
岡山芸術創造劇場ボックスオフィス 086-201-2200
岡山県音楽文化協会 086-224-6066
ぎんざや 086-222-3244

イープラス <https://eplus.jp/>
チケットぴあ (Pコード259-501) <https://t.pia.jp>
ローソンチケット (Lコード:62458) [https://l-tike.com//](https://l-tike.com/)

岡山シンフォニーホール／岡山芸術創造劇場
オンライン・チケット ※右記からもご購入いただけます。

公演に関するお問合せ/楽団事務局
TEL:086-234-7177 FAX:086-234-1968
MAIL:oka_phil@okayama-symphonyhall.or.jp

